

ダウン・ザ・テッシ-オ-ペツ2026

※河川状況・気象状況等によって、時間帯は変更になる場合があります。

Program プログラム

1日目 7月18日(土) 34km

6:00	受付・検定開始	名寄市	名寄大橋右岸スタート会場
8:00	車両移動(ゴール地へ) *BP経由、27キロ30分	名寄市	名寄大橋→びふかアイランドキャンプ地駐車場へ アイランド→スタート会場へ
8:45	貸切バス出発	美深町	
9:30	貸切バス着、出艇準備	名寄市	*臨時バスは国道沿いに停車
10:00	開会式・スタート準備	名寄市	名寄大橋右岸スタート会場
10:15	一斉スタート		名寄大橋(名寄市長スターター) 0km 恵名大橋 3km *スーポロの瀬 上流右岸 8km 東恵橋 10km 天智橋 14km 智恵文大橋(バイパス) 18km
13:00	第1区間ゴール 昼食・休憩	美深町	恵深橋カヌーポート (仮設トイレ有り) 23km
14:00	第2区間スタート		恵深橋カヌーポート (大会長スターター) 美深橋 26.5km *六郷テッシ 30km 美深大橋 32.5km 紋穂内橋 33km *紋穂内の瀬
16:00	第2区間ゴールチェック キャンプ地に移動(徒歩) 各自テント設営		びふかアイランドカヌーポート 34km (仮設トイレ有り) びふかアイランド多目的広場
17:00	各自温泉、夕食		
18:00	アトラクション抽選会		野外ステージ
20:00	終了・各自テント交流		びふか温泉入浴は21時30分まで

2日目 7月19日(日) 25km

8:30	車両移動(ゴール地へ) *23キロ、約25分	美深町	びふかアイランド→ 音威子府村・川の駅「中の島」 音威子府村役場南側築堤前→ スタート会場へ
9:00	貸切バス出発	音威子府村	
9:45	貸切バス着・スタート準備	美深町	びふかアイランドカヌーポート (仮設トイレ有り)
10:00	第3区間スタート		(美深町長スターター) 0km 恩根内大橋(恩根内テッシ) 5km 小車大橋 *下流左カーブ注 8km *楠(くすのき)岩盤地帯 11.5km *豊清水の瀬(2級) 14km 音威子府村 止若内橋 17km
12:30	第3区間ゴール 昼食・休憩		川の駅「天塩川温泉」 17.5km (仮設トイレ有り)
13:30	第4区間スタート		(音威子府村長スターター)
15:00	第4区間ゴールチェック		川の駅「中の島」(仮設トイレ有り) 25km
15:30	閉会式・解散		漕計 59km



2026年12月20日(日) [雨天決行]

松浦武四郎の出身地松阪市との連携事業です。令和の武四郎として武四郎のふるさと、伊勢街道を走り抜けてみませんか。

<https://mie-matsusaka-marathon.jp/>

今日、私は「令和」の武四郎になる。



169年前の夏、天塩川を遡る一人の男がいました。

松浦武四郎が蝦夷地(現在の北海道)に渡り、この地の第2の大河、天塩川を探索したのは、幕末の安政4年(1857年)6月のこと。武四郎は、アイヌの人たちとともに川筋をたどるかたちで、ひたすら天塩川源流へと向かいます。探索を終えた武四郎は、明治2年に道名に関する意見書を提出し、6つの道名候補をあげました。このうち、「北加伊道」の「加伊」を「海」と変更して「北海道」となるとされています。意見書では、「加伊(カイ)」とはアイヌの人たちの自称であると説明されており、探索の中でアイヌの人たちと深く関わった武四郎の姿が伺えます。

「テシホ(天塩川)は北海道の西部にあって、北海道第二の大河である」

当時の天塩川流域を探索した記録である「天塩日誌」を振り返りながら、現在の川の流れに重ねあわせるとき、新たな天塩川の流れが発見されることでしょう。



松浦 武四郎 肖像
(北海道立文書館 所蔵)

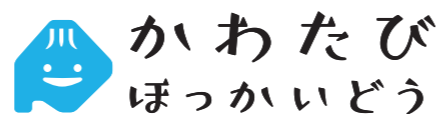


美深町
恩根内テッシ
天塩川の語源となったテッシ
(アイヌ語で梁の意味)



音威子府村
北海道命名之地

川へ行こう！川を楽しもう！



「水辺っておもしろい！」を
マンキッできる、初めての情報サイト！

手軽なアクティビティから、施設・イベント情報、さらにグルメな話題まで。北海道の川や水辺界隈の楽しみをまるごと伝えてくれる、ワクワクがたっぷりの情報サイトです！

アクセスしてね



北海道の水辺の観光情報サイト「かわたびほっかいどう」

かわたびほっかいどう Search!

<https://kawatabi-hokkaido.com/>



北海道遺産「天塩川」

第33回 [北海道遺産] 天塩川カヌーツーリング大会

ダウン・ザ・テッシ-オ-ペツ

Down The Teshi-o-pet 2026
兼 第23回北海道カヌーツーリング大会 2026



漕ぎ出せば きらめく 大自然…

緑の山々に抱かれた士別市天塩岳から利尻富士を望む河口までを流れる天塩川。その流れを下るダウン・ザ・テッシ-オ-ペツは、国内最大級のカヌーツーリングイベントです。悠々と流れる北海道遺産「天塩川」に身をまかせ、素晴らしい魅力を再発見してみませんか。

7/18(土), 19(日)

[雨天決行] 参加申込締切 6月30日(火) 必着

天塩川 名寄市・名寄大橋 ▶ 美深町・びふかアイランド ▶ 音威子府村・川の駅「中の島」 [漕行距離 59km]

5月24日(日)、6月21日(日) カヌー講習会

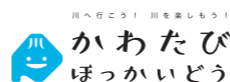
問い合わせ先

〒096-0007 北海道名寄市東7条南1丁目56 NPO法人 ダウン・ザ・テッシ
TEL 01654-3-8890(代表) 夜間・休日TEL 080-1877-4760
E-mail canoe@teshiogawa.net <https://teshiogawa.net>



主催：NPO法人 ダウン・ザ・テッシ
共催：北海道新聞社・北海道カヌー協会・北海道カナディアンカヌークラブ
主管：ダウン・ザ・テッシ-オ-ペツ実行委員会(略称：ダウン・ザ・テッシ実行委員会)
後援：北海道開発局・北海道・公益財団法人はまなす財団・一般財団法人北海道河川財団・一般財団法人石狩川振興財団・NPO法人北海道遺産協議会・道北観光連盟・天塩川ルネッサンス会議・北の星座共和国建国推進事務局・名寄市・美深町・音威子府村・名寄市教育委員会・美深町教育委員会・音威子府村教育委員会・NPO法人なよろ観光まちづくり協会・美深町観光協会・音威子府村観光協会・NHK 旭川放送局・名寄新聞社・北都新聞社・エフエムなよろ
協力：北大カヌークラブ・帯広畜産大学カヌー探検部・北海道教育大学岩見沢校アウトドアライフ専攻・北翔大学岡ゼミ

特別協賛：サッポロビール株式会社・北海道スバル(株)・mont-bell・finetrack・秀岳社・北海道グレートアドベンチャー(有)メルカトル(有)シーズ(有)酒向自動車工業(株)美深振興公社びふか温泉



一般財団法人石狩川振興財団助成事業

北海道伊藤園「お茶で北海道を美しく。」
キャンペーン助成事業